



## 湾岸・アラビア半島地域ニュース

### イラン：北朝鮮との関係 (5月10-12日付 ISNA 他)

5月7日より北朝鮮の金永日アジア・太平洋担当外務次官がイランを訪問し、ダーヴーディ第一副大統領及びモッタキ外相と会談した他、両国外務省間協力に関するMOUを調印した。

#### 1. ダーヴーディ第一副大統領との会談 (10日付 ISNA)

##### (1) 副大統領の発言：

- (イ) 自立した諸国は相互に連携しつつ、経済や産業といった分野で関係を更に拡大すべきであり、協力を通じて自国民の利益のために措置を講ずるべきである。
- (ロ) イランは、北朝鮮との関係及び協力の拡大について制限を設けていない。特に経済、インフラ、技術サービスの分野で、北朝鮮の発展と繁栄のために、自らの成果を提供する用意がある。
- (ハ) (国際問題、特に世界の傲慢(注：米国を指す)との闘いで両国の立場が近いことを強調して)世界の諸国民を啓蒙することで、傲慢及び理不尽な大国の時代は終わりを告げ、勝利は完全に自由を求める人々及び自立した諸国民のものとなろう。

##### (2) 金外務次官の発言：

- (イ) (イランの平和的原子力活動を支持しつつ)平和的原子力エネルギーの活用は全ての国の当然の権利である。傲慢な大国、特に米国が発展に向けた諸国民の道のりを妨げることは出来ない。
- (ロ) (様々な分野でのイランの成功に言及し)北朝鮮は、あらゆる分野、特に投資及び開発分野において、イランの貴重な経験と成果を活用することを望んでいる。

#### 2. モッタキ外相との会談 (11日付 ISNA)

##### (1) 外相の発言：

- (イ) (イラン・北朝鮮の友好・協力関係の継続に関する両国首脳部の意向に言及しつつ)アフマディネジャード政権は、政治、経済、文化の分野での北朝鮮との関係拡大に関心を持っている。従って、幾つかの障害を克服し、両国の協力関係の新たな基盤を確認し、それらをもたらすことが必要である。(障害とは、特に北朝鮮の対イラン債務問題であることを挙げつつ)両国は、この障害を解消するフォーミュラを見出すことが出来る。
- (ロ) 北朝鮮と韓国による協力プロセスを、両国統一のための初期的措置として支持する。

##### (2) 金外務次官の発言：

- (イ) 両国は良好な協力関係を持っており、我々はイランとの関係の重要性を承知している。我々は、国際社会においてイランを支持していくであろう。
- (ロ) (平和的原子力エネルギーに関するイランの権利を強調して)経済の様々な分野でのイランとの協力を増大させる用意のあることを表明する。

#### 3. 又、12日付け現地各紙は、両国間で次官級年次協議の実施、国際問題での協議と意見交換、外務省間の更なる協力調整に関するMOUの調印を報じた。